

対流・交流を生み出す中津川に向けた懇談会



8月7日(水)、中経連は中津川商工会議所と連携し、「対流・交流を生み出す中津川に向けた懇談会～地域資源の活用と名古屋との連携強化～」を中津川商工会議所にて開催した。本懇談会は、今年3月に公表した「中部圏の将来ビジョン」の実現に向けたプロジェクトの一つである。

懇談会には、青山中津川市長、杉本中津川商工会議所会頭、早川中津川北商工会会長をはじめ、岐阜大学、名古屋市幹部、(一社)中央日本総合観光機構、中経連などが参加した。

地域資源の活用事例として、付知地区にて10月27日に初開催されるサイクリング大会、名古屋市が検討している旧尾張藩ゆかりの地域を観光でつなぐ「尾張徳川連携事業」、中津川市中心部と中山道で行われている低速電動バスによる実証実験などが紹介された。その後、「2次交通」「広域観光」「森林資源の活用」などをテーマに、活発な意見交換が行われた。今後は、テーマごとに分科会を設置し、具体策の検討を進めていく。

(企画部 加治 貴史)

定例記者会見

9月2日(月)、中経連は総合政策会議終了後、豊田会長の定例記者会見を行った。

はじめに、豊田会長は愛知県国際展示場やセントレアLCC向け第2ターミナルの開業など、新しい動きによる中部圏経済の活性化への期待を述べた。

次に、4月～8月にかけて実施した中部5県および名古屋市との懇談会について報告し、「中部圏の将来ビジョン」の実現に向けた戦略について、産学官で議論する場を年度内に設けるべく関係機関と検討を重ねる考えを示した。

続いて、ナゴヤ イノベーターズ ガレージの新プログラムとして、大学発の技術シーズと企業のマッチングを行う「アカデミックナイト」、愛知県立芸術大学の協力によるコンサート「MUSIC in the GARAGE!」を紹介。10月に京都で開催予定の西日本経済協議会総会とともに、報道陣に取材を呼びかけた。

最後に、税制委員会が取りまとめた提言書「2020年度税制改正に対する意見」を公表し、小川専務理事から「連結納税制度の改善」「国土強靱化に資する税制の整備」など、重点要望項目について説明を行った(本誌2～4ページ参照)。

(総務部 奥田 知子)



最近の要望活動

8月9日(金)名古屋環状2号線の整備促進を要望

栗原中経連常務理事が、堀場名古屋市副市長らとともに、工藤国土交通大臣政務官をはじめ国土交通省幹部と面談し、名古屋環状2号線の整備促進を要望した。

